

テーマ 確かな学力の定着を目指し粘り強く取り組む力を育てる授業の工夫改善
－「授業が分かる」を支援する、ICTの活用とつまずきに対する支援を通して－

1 主題名 働くことの意味について考えよう C（13）勤労

2 教材名 「リクエスト食」を支える

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値

内容項目C（13）は、「主として集団や社会との関わりに関すること」の「勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること」である。勤労は、人間生活を成立させる上で大変重要なものであり、一人一人がその尊さやその意義を理解し、社会生活の発展・向上に貢献することが求められている。中学生が将来の生き方について考えるとき、将来就きたい職業について考えることになる。職業は、一人一人の人生において重要な位置を占めており、人は働くことの喜びを通じて生きがいを感じ、社会とのつながりを実感することができる。一方で、現代社会は巨大で複雑な産業社会となり、自分のしている仕事の意義が見えにくく、自らの目的をもちづらくなっている。これまであった仕事姿が姿を消し、新しい仕事が生み出されていく社会の中で、職業とは何か、働くとは何かについて考えることは大切であると考え、本主題を設定した。

（2）生徒の実態

本学級の生徒は、男子7名、女子22名の計29名である。何事にも真面目に取り組み、学習への意欲が非常に高い。話し合い活動では、どのグループも意欲的に活動できている。一方で、発表や発言に消極的な一面があり、意見を積極的に出す生徒が固定化しつつあることが課題である。そのため、生徒が自分の意見を持ちやすい発問を行うと共に、発言しやすい雰囲気づくりに留意していきたい。

本時を行うにあたり実施したアンケートの結果から、多くの生徒が将来の目標をもっていることがわかった。また、働くことの意味を理解できていると答えた生徒が多かった。しかし、働くことを「お金を稼ぐためにするもの」と捉えている生徒も少なからずいることが予想され、働くことについて深く考える機会を設けることが大切であると考えた。

第3学年1組 計29名 アンケート実施人数24名	
将来の目標（職業など）をもっている	そう思う・・・13名 どちらかといえば思う・・・8名 思わない・・・3名
働くことの意味を理解している。	そう思う・・・19名 どちらかといえば思う・・・5名

（3）教材について

この教材では、ホスピスで働く二人の人物に焦点を当てて、仕事に取り組む際の考え方や生き様にふれることで、「働く」ことの意味とは何かを考えられるようになっている。また、他者の役に立つ職業の具体的な仕事にふれることで、働くことが自分のためだけのものではないことを理解できる。

（4）指導観

生徒の実態をふまえ、教材に登場する職業を通して、「働く」ことの意味について深く考え、単にお金を稼ぐためだけに行うことではないことに気づかせたい。また、「働く」ことで他者や社会に貢献しながら自らの生き方を充実させようとする心情を育てたい。

4 本時の活動

(1) ねらい

- 「働く」ことの意味について考え、他者や社会に貢献しながら自らの生き方を充実させようとする心情を育てる。

(2) 準備・資料

教科書、ワークシート、ホワイトボード

(3) 展開

I C Tの活用_____ つまづきに対する支援_____

学習活動・内容	支援・指導上の留意点 (評) 評価
1 働くことにはどんな意味があるだろうか ・生きていくために必要 ・お金を稼ぐことができる ・やりがいがある仕事なら人生が楽しい 2 『「リクエスト食」を支える』を読んで、個人で考える ○大谷さんと高藤さんが、「リクエスト食」に取り組むときに大切にしているのは、どんなことですか。 ・患者さんの心のケア ・患者さんとのコミュニケーション ・患者さんの気持ちに寄り添う ・患者さんの思いを大切に ・患者さんのイメージに近づける ◎あなたは『「リクエスト食」を支える』を読んで、働くことについてどう考えますか。 ・使命感をもって働くことが大切である ・患者さんの喜びが働く人の喜びである ・誰かの役に立つことは重要である ・プロ意識をもって働くことが大事 ・誰かのためになることがやりがいになる 3 「働くことは何か」について考えを深める。 ・グループで意見を出し合う。 ・グループの発表を聞く。(ホワイトボードに記入) 4 本時の振り返り ・働くことにはどんな意味があるのか、もう一度考え、ワークシートに記入する。	・ワークシートを工夫し、授業開始時の生徒の考えと、授業後の生徒の考えがどのように変化しているかが分かるようにする。 ・ペア活動で<u>どんなことを考えたか意見を交換させ、発言しやすい雰囲気をつくる。</u> ・数名の生徒の考えを聞き、黒板に書き出す。また、友人の考えは色ペンなどでワークシートにメモしてもよいことを伝える。 ・生徒全員で順番に音読する。 ・ホスピスがどのような場所かが分からない生徒のために説明をし、イメージがもてるようにする。 ・ワークシートに自分の率直な意見を書くように助言する。 ・<u>生徒全員が自分の意見をもって話し合い活動を行えるよう、机間指導を行い、簡単な言葉でもいいから記述できるよう助言する。</u> ・グループで話し合う際の注意点を伝える。 (1 最後まで話を聞く。2 みんなに伝わる声で発表する。3 相手の意見を否定しない。) ・友人の発表を聞き終わったら、必ず拍手をして称賛するように声をかける。 ・働くことの意味は、お金を稼ぐためだけではなく、他者の役に立つことや、社会に貢献することに価値があるということに気づかせるため、具体例を挙げながら視野を広くもてるような助言を行う。 ・他のグループの発表でよいと感じたことを、ワークシートにメモするように指示する。 ・発表を聞くときの姿勢や、体の向きにも言及し、互いの話をしっかり聞く意識をもたせる。 (評)「働く」ことの意味について考え、他者や社会に貢献しながら自らの生き方を充実させようという考えをもつことができています。(ワークシート) ・授業の最初と最後で考え方に変化があったかを振り返り、率直に記入するよう指示する。また、考え方が変わっていなければいけないわけではないことを理解して記述できるよう説明する。